

道路案内標識に対する 利用者の意見



道路標識に対する利用者からの意見収集方法

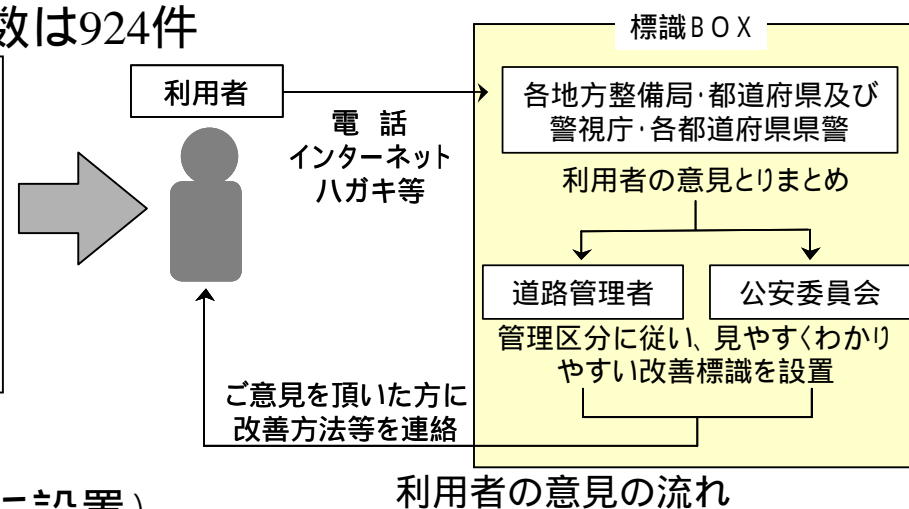
標識BOX

- ・ドライバーから道路標識に関する意見を広く求めるために、公共施設を中心に記入用紙と投函箱(標識BOX)を設置(平成元年4月~)
- ・意見は、道路管理者や公安委員会に伝達され、必要な措置を実施
- ・その他に、電話、FAX、インターネットでも受付窓口設置
- ・昨年の道路管理者に対する意見数は924件



その他

- ・道の相談室(各地方整備局、県に設置)
- ・日本道路公団のハイウェイガイド、ハイウェイホスト、電子メールのご意見・ご要望等でも意見を収集している。



目標地名のわかりにくさ

【表示の規則性】

遠地を表示しているが、必要とする近接地名が無い。

目的とする都市に入ってから、目的地点までの案内が少なく道に迷った。(図2)

【表示する地名】

高速道路を出てからの案内地名が、遠方からの旅行者になじみの無いものしか表示されていない。

観光施設やリゾート地への標識を充実してほしい。(図3)

【大きさ】

標識が目立たず見落とした。標識を大きくしてほしい。

【色彩】

表示する地名の色彩を、遠近に応じて変更すればわかり易いのでは。(図4)



図1 一般的な目標地表示の例

図2 「市街」と表示している例



図3 民間施設の案内(首都高)



図4 遠地、近地を色分けしている海外事例(ドイツ)

路線番号が認識できない

【路線番号・通称名の表示】

案内標識に、分岐する国道の路線番号の表記がなかった。

“青山通り”の表示がなかった。

たくさんの地名が並んでいるが、交差する道路の路線番号を表示すべき。(図1)

海外では、路線番号や高速道路の出口番号があり、わかりやすい。(図3)

【進行方向にある路線の表示】

進行方向にある主要路線名が表示しており、わかりやすかった。(図2)



図1 地名の多数表示 例(路線名称あり)
図2 目標地に代え路線名を表示している例



図3 直進の路線番号、出口番号や方向 等
を表示している例 (米国)

表示内容の連続性、整合性

【管理者間の連携不足等】

連続する交差点に同一交差点名の表示がある。

同一交差点であっても、入る方向により表示されている地名が異なる。(図1)

予告標識と交差点標識で、表示内容が異なっていた。(図2)

目標地名を目指して国道を走行していたら、途中表示が無くなり戸惑った。(図3)

【表示の途絶】

国道16号の表示に従って進行したが、途中から表示が無くなった。

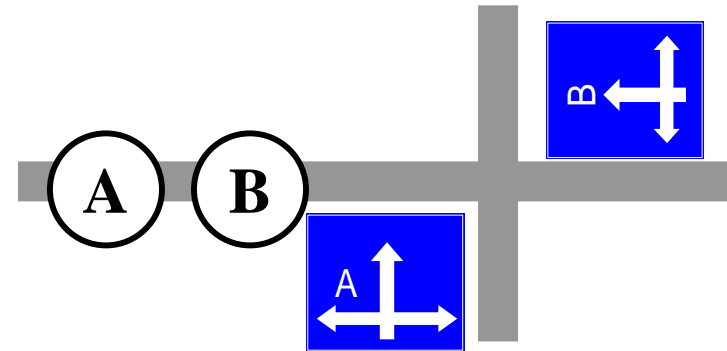


図1 同一交差点において表示地名の異なる例



図2 予告標識と交差点標識の不整合例



図3 目標地名が途絶える事例

バイパス・重複区間等の表示方法

【バイパス】

旧道とバイパスが同じ路線番号で表示されており、混乱。(図1)

国道16号の表示に従って進行したが、途中から表示が無くなった。

【重複区間の扱い】

路線番号が途中で無くなり引き返したが、後から路線が重複している区間だと分かった。(図2)

国道200号線と国道211号線の標識が縦に並んでおり意味がわからない。(図2)

【参考:現行基準】

「路線番号の案内は、重複区間においても途切れなく案内することとし、重複している道路の路線番号を全て同一地点において案内する」としている。(道路標識設置基準)



図1 旧道とバイパスとが併記されている例

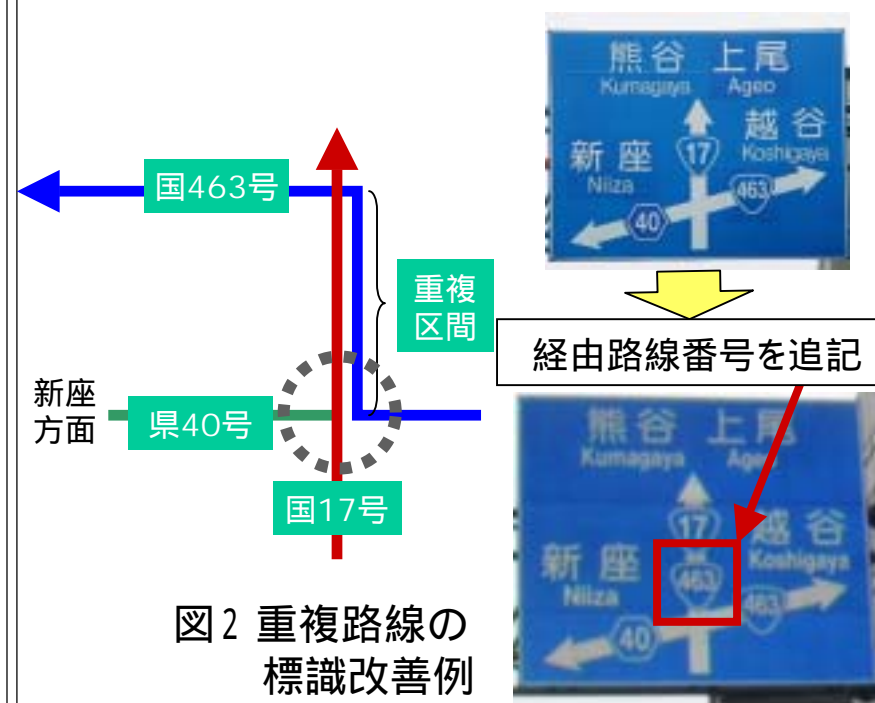


図2 重複路線の標識改善例

交差点の表示方法

【レーンの明示】

予告案内標識では、例えば、自分の走行している車線が右折専用レーンになることが分からず、直前で進路変更する車があり危険。車線を事前に案内してほしい。

(図1)

【正確な表示と簡潔な誘導】

目標地が右側にあると思っていたら、左方向に表示されていたため混乱した。

(図2)

同規格の道路がY字になっているが、標識が無く誤った方向に進んでしまった。

直進する道路があるが、標識に何も書いていないので、どこに行くのかわからない。



図1 通行区分を共架して表示している例



方向関係を重視した例



実際の分岐形状に即した例

図2 同一交差点で表示方法の異なる例

現在位置に関する情報の不足

【交差点名】

交差点名を示す標識が少ない。(図1)
交差点の両脇にある交番か神社を交差点名称として表示してほしい。(図1)
交差点名称を予告案内してほしい。
(図2, 3)

【県境・市町村境】

県境に県名、町名の標識がない。きちんと標識を設置してほしい。(図5)



図1 一般的な主要地点標識(通称:交差点標識)

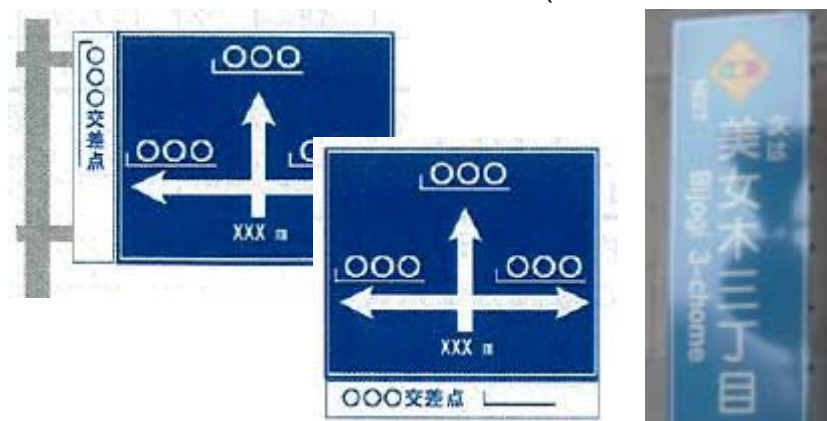


図2 交差点名称予告標識
の検討例

図3 交差点名称
予告標識の事例



図4 番号をつけて分かり
やすく案内している例



図5 一般的な都府県境、
市区町村境の設置例

観光客に対するわかりやすさ

【多他言語表示】

難読な地名には、ローマ字併記が必要。
英語以外(中国語、韓国語)の言語も表示してほしい。(図1)

【表記の統一】

“Onsen” “Spa.” “Onsen Spa”など、同一施設の英語(ローマ字)表記が異なる。
(図2, 3)

【民間施設案内】

観光施設、リゾート地、民間施設への案内標識が欲しい。(図4)

【その他】

ピクトグラムはあるが、意味がわからないものがある。

観光発展のために、地域性や名所等を表す個性的な絵文字を、標識に付けたい。

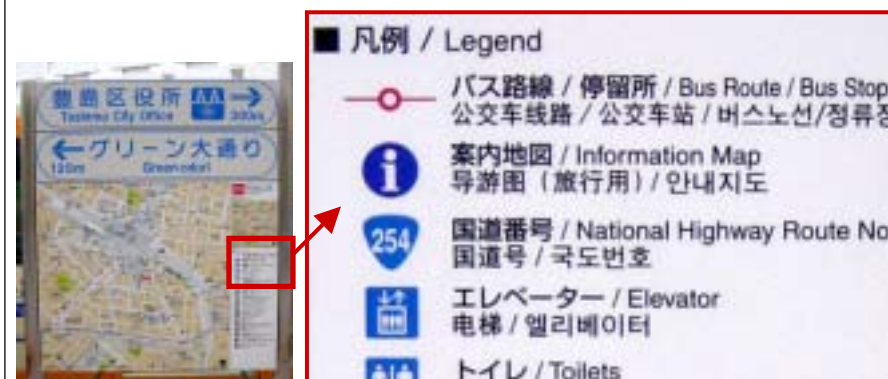


図1 著名地点標識に附置した地図
(日本語・英語・中国語・韓国語)



図2 温泉 Onsen

図3 温泉 Spa.



図4 民間施設を案内している例

景観・視環境の問題

【景観への配慮】

美しい街並みや自然環境に調和する標識を設置してほしい。(図1, 2)

【乱立等】

たくさんの標識が建っていて目的の標識がなかなか見つけれなかった。(図3)

1つの標識に大量に文字が書いてあり、理解に時間を要し、前方不注意で危険。

【視環境】

街路樹により標識が見えない。(図4)
信号や他標識により、標識が隠れている。
標識が古く、夜間反射しなくて見づらい。



図1 景観を考慮した海外の標識の事例



図2 景観を考慮した支柱の事例



図3 経路案内標識と規制標識の合体表示例



図4 街路樹により見えない例

地図やカーナビとの連携

【地図】

地図に書いている交差点名と、実際の標識が一致しない。(図1)

交差点名の表示が“リハビリセンター入口”と表示されているが、地図に載っている住居表示にすべき。

【カー・ナビゲーション】

カーナビ会社により、表示内容が異なる。共通な情報にならないか。(図2)

カーナビが普及すれば、標識の設置箇所数が少なくできるのでは。(図2)

【参考：現行基準】

「道路地図などであらかじめ経路を選定して、その経路を標識で確認しながら旅行する。」を前提としている。

(道路標識設置基準)



図1 交差点名と地図の表記の通常の事例

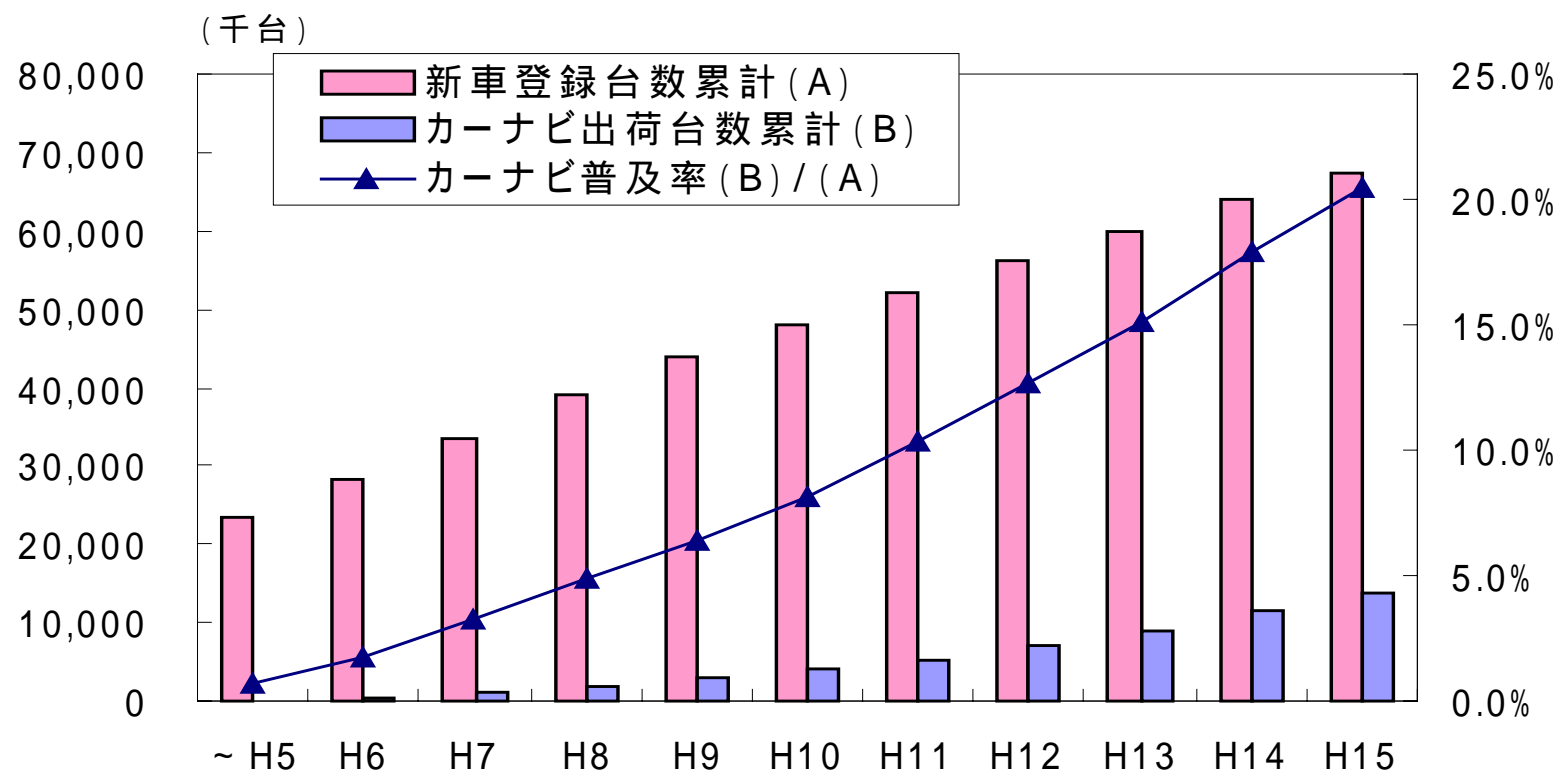


図2 カーナビゲーションによる提供例

カーナビゲーションの普及

普及状況

平成15年12月時点のカーナビの普及率は約20%



VICSセンター資料より

カーナビゲーションの画面

市販カーナビには、道路標識に関する様々な機能が搭載。



各メーカーのホームページより(2004/04時点)

高速道路本線での案内のわかりにくさ

【利用者からの意見】

IC出口の案内標識に自分の行きたい地名が無い。

道路構造の案内が不十分。(図1)

JCTの分岐案内が見えるのが遅すぎる。もっと手前から設置して欲しい。

目的地に向かう途中のJCTに” 道”とか” × × 道”といった案内が無かったので分かりづらい。(図2)

標識に地名等がごちゃごちゃと標示されていて分かりづらい。(図3)

【出典】

平成15年(1月～12月)に寄せられたハイウェイガイド、ハイウェイポスト、電子メールのご意見・ご要望集計(全国)



図1 道路構造を色分けして表示している例



図2 方面及び方向に加え接続道路名も表示している例



図3 方面及び方向、接続道路名に加え、渋滞情報を提供している例

高速道路の案内に関するその他の意見

【利用者からの意見】

市街地から高速道路入口への案内看板を他の地域からの利用者にもわかりやすくしてほしい。

高速道路に乗ろうと入口に行ったが、自分の行きたい方向には行けない構造のICだった。構造が分かるような案内をして欲しい。(図1)

山を案内するような標識があれば、ドライブがもっと楽しくなります。

【出典】

平成15年(1月～12月)に寄せられたハイウェイガード、ハイウェイポスト、電子メールのご意見・ご要望集計(全国)

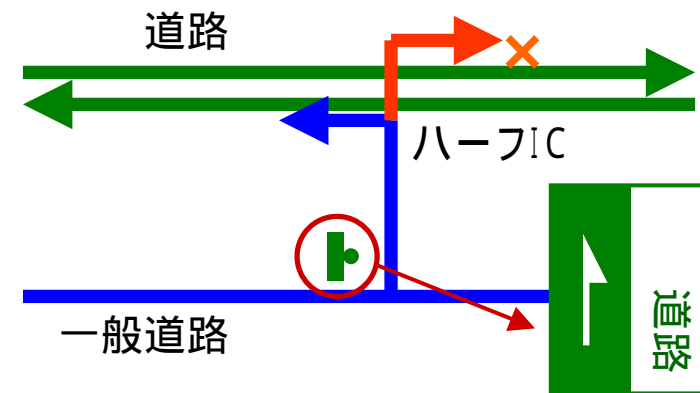


図1 入口案内に方面が表示されていないイメージ



図2 絵文字等を用いて地域性を出している例

外国人旅行者からの意見

【利用者からの意見】

駅以外の場所での標識や表示物などに、ローマ字表記がなく困った。

ほとんどの標識は日本語で書かれているように思える。もっと英語の標識が必要である。

英語のガイドや表示が、まだまだ不十分。これは、日本語が話せない旅行者にとって、行先を探すときなど、本当に困る。

交通機関にハングル表示がない。

【出典】

- ・「訪日外客訪問地調査・訪日外客実態調査」
調査対象902人のうち自由コメント有りが546人、
そのうち言葉に関するコメントが123件
(H9.3、国際観光振興会JNTO)
- ・「訪日外国人旅行者調査(2001-2002)」
調査対象4,109人のうち自由コメント有りが373人、
そのうち言葉に関するコメントが36件
(H15.1、国際観光振興会JNTO)

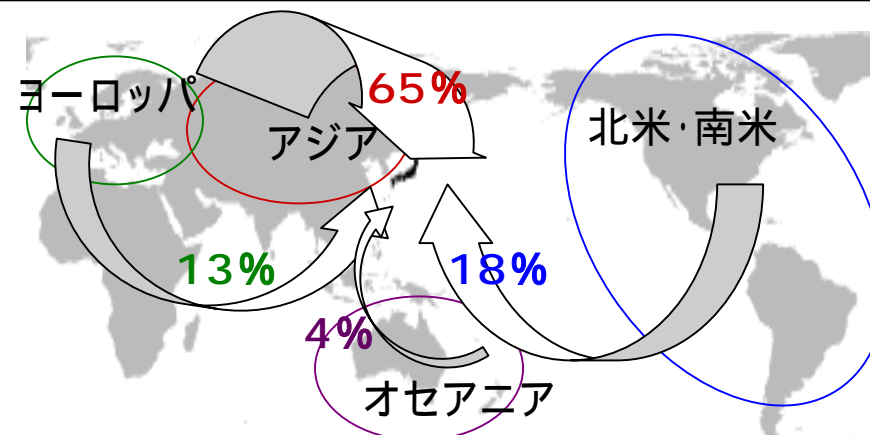


図1 世界各国からの渡航状況

(JNTO国際観光白書2003年度版)

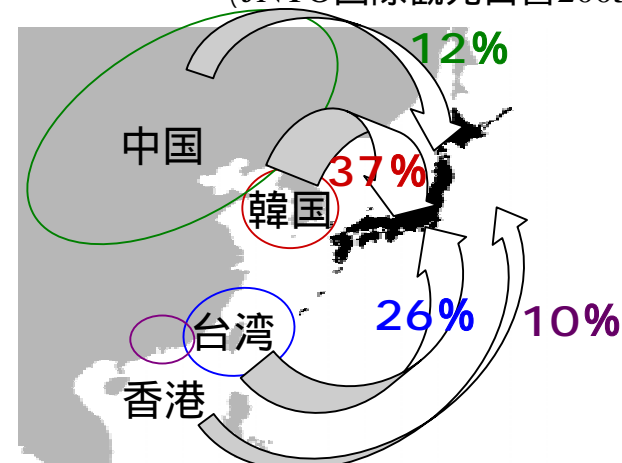


図2 アジアからの渡航状況

(JNTO国際観光白書2003年度版)